

# 危機管理（救急・災害）医学講座

## Crisis (Emergency and Disaster) Medicine

教 授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
准教授	有嶋 拓郎	Takuro Arishima
講 師	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助 教	工廣紀斗司	Kitoji Takuhiro
診療助手（併）	旭 雄士	Takashi Asahi

### ◆ 著 書

- 1) 高橋千晶, 奥寺 敬: 総論 第3章 意識障害の評価. 「脳神経外科救急基礎コースガイドブック」日本脳神経外科救急学会(編), 河本圭司, 佐野公俊, 島 克司(監修), 27-33, メディカ出版, 大阪, 2009.
- 2) 奥寺 敬, 鹿野 恒: 各論 第8章 脳死. 「脳神経外科救急基礎コースガイドブック」日本脳神経外科救急学会(編), 河本圭司, 佐野公俊, 島 克司(監修), 103-108, メディカ出版, 大阪, 2009.
- 3) 奥寺 敬: シミュレーション研修について. 「脳神経外科救急基礎コースガイドブック」日本脳神経外科救急学会(編), 河本圭司, 佐野公俊, 島 克司(監修), 117, メディカ出版, 大阪, 2009.
- 4) 旭 雄士, 奥寺 敬: Case7 虐待が疑われた頭部打撲例. 「脳神経外科救急基礎コースガイドブック」日本脳神経外科救急学会(編), 河本圭司, 佐野公俊, 島 克司(監修), 124-125, メディカ出版, 大阪, 2009.
- 5) 旭 雄士, 奥寺 敬: Case13 CT が明らかでないくも膜下出血. 「脳神経外科救急基礎コースガイドブック」日本脳神経外科救急学会(編), 河本圭司, 佐野公俊, 島 克司(監修), 139-140, メディカ出版, 大阪, 2009.
- 6) 旭 雄士, 奥寺 敬: Case20 発語困難と右上下肢脱力で発症した脳梗塞. 「脳神経外科救急基礎コースガイドブック」日本脳神経外科救急学会(編), 河本圭司, 佐野公俊, 島 克司(監修), 159-161, メディカ出版, 大阪, 2009.

### ◆ 原 著

- 1) Takahashi C., Okudera H., Sakamoto T., Aruga T., Ota T.: The Emergency Coma Scale for patients in the ED: concept, validity and simplicity. *Am J Emerg Med*, 27(2): 240-243, 2009.
- 2) Wakasugi M., Nilsson H., Hornwall J., Vikström T., Rüter A.: Can performance indicators be used for pedagogic purposes in disaster medicine training? *Scand J Trauma Resusc Emerg Med*, 17: 15-17, 2009.
- 3) Asahi T., Tsutsui M., Wakasugi M., Tange D., Takahashi C., Tokui K., Okazawa S., Okudera H.: Valacyclovir neurotoxicity: clinical experience and review of the literature. *Eur J Neurol*, 16: 457-460, 2009.
- 4) 若杉雅浩, 奥寺 敬, 安野みどり, 井上聖啓, 河村 満, 北原孝雄, 國本雅也, 横田裕行: 抗凝固療法中に発症した脳出血の治療実態. *日本神経救急学会雑誌*, 21: 15-17, 2009.
- 5) 峯 隼人, 旭 雄士, 高橋千晶, 若杉雅浩, 安田佐智子, 奥寺 敬: 医学教育の一環としての化学災害訓練の試み. *富山大学医学会雑誌*, 19: 47-50, 2008.
- 6) 山田実貴人, 山田法顕, 豊田 泉, 吉村紳一, 鈴木明文, 坂本哲也, 岩間 亨, 奥寺 敬, 小倉真治: Off-the-job training としての脳卒中初診料 (ISLS) コース開催の経験. *脳卒中*, 31(1): 1-9, 2009.

### ◆ 症例報告

- 1) 中村丈洋, 奥寺 敬, 岩瀬正顕, 加藤庸子, 鹿野 亘, 亀山元信, 末廣栄一, 名取良弘, 本多 満, 河本圭司: 脳神経外科救急基礎 (PNLS: Primary Neurosurgical Life Support) トライアルコース開催報告. *Neurosurgical Emergency*, 14(1): 12-17, 2009.

### ◆ 総 説

- 1) 奥寺 敬, 工廣紀斗司: 救命救急医療に必要な要素. *エマージェンシーケア*, 270: 44-49, 2009.
- 2) 有嶋拓郎, 奥寺 敬: 心停止に対応する一患者急変時の初期対応と心停止アルゴリズム. *レジデント*, 2(7): 22-25, 2009.
- 3) 若杉雅浩, 奥寺 敬: 症状からみた鑑別疾患 - 頭痛. *救急・集中治療*, 21(9-10): 1155-1159, 2009.
- 4) 若杉雅浩, 奥寺 敬: 【意識障害の初期診療『ACEC』と『コーマ・ルール』】総論 Secondary survey 問診. *救急*

## ◆ 学会報告

- 1) Okudera H., Shima K., Ajimi Y., Nakamura T., Yamada M.: Simulation Training System for Acute Neurosurgical Management in Japan. (Workshop: First ISLS International Version Trial Task Force) 9th International Conference on Cerebrovascular Surgery, 2009, 11, 11-13, Nagoya, Japan.
- 2) Nakamura T., Okudera H., Ajimi Y., Yamada M.: Modules for ISLS/PNLS combined course as international version. (Workshop: First ISLS International Version Trial Task Force) 9th International Conference on Cerebrovascular Surgery, 2009, 11, 11-13,, Nagoya, Japan.
- 3) Nakamura T., Okudera H., Ajimi Y., Shima K., Kawamoto K., Sano H: Simulation based preoperative management training for neurosurgical staff: ISLS & PNLS course. 9th International Conference on Cerebrovascular Surgery, 2009, 11, 11-13, Nagoya, Japan.
- 4) Ajimi Y., Okudera H., Nakamura T., Sakamoto T: System/structure oriented case debriefing -Group work to summarize ISLS course with clinical maps-. (Workshop:First ISLS International Version Trial Task Force) 9th International Conference on Cerebrovascular Surgery, 2009, 11, 11-13, Nagoya, Japan.
- 5) 渋谷伸子, 柳 堅徳, 奥寺 敬, 釈永清志, 山崎光章: 感染を契機に DIC を合併し急性硬膜下血腫と腎不全をきたしたアルコール性肝硬変の一例. 第 36 回日本集中治療医学会総会, 2009, 2, 26-28, 大阪.
- 6) 柳 堅徳, 渋谷伸子, 奥寺 敬: 集学的治療により鈍的横隔膜破裂症に外傷性大動脈解離を合併した多発外傷例を救命しえた 1 例. 第 36 回日本集中治療医学会総会, 2009, 2, 26-28, 大阪.
- 7) 奥寺 敬, 高橋千晶, 折笠秀樹: Emergency Coma Scale 多施設共同研究 E-COMET final report. (モーニングセミナー) 第 34 回日本脳卒中学会総会, 2009, 3, 21, 島根.
- 8) 高橋千晶, 旭 雄士, 工廣紀斗司, 奥寺 敬: 救急外来における迅速 BNP 値と様々なパラメータの相関の検討. 第 12 回日本臨床救急医学会・学術集会, 2009, 6, 1-12, 大阪.
- 9) 島 克司, 奥寺 敬, 加藤庸子, 佐野公俊, 河本圭司: 脳神経外科救急初期診療法 (PNLS). 第 68 回日本脳神経外科学会・学術総会, 2009, 10, 14-16, 東京.
- 10) 中村丈洋, 奥寺 敬, 佐野公俊, 島 克司, 河本圭司: 脳神経外科救急基礎 (PNLS: Primary Neurosurgical Life Support) コースの開発: 最新の国際ガイドラインに準拠し心肺脳蘇生学習を目的とした救命処置研修. 第 68 回日本脳神経外科学会・学術総会, 2009, 10, 14-16, 東京.
- 11) 高橋千晶, 奥寺 敬, 旭 雄士, 若杉雅浩, 工廣紀斗司, 有島拓郎: Emergency Coma Scale は脳神経外科救急疾患患者の予後因子となりうるか? 第 68 回日本脳神経外科学会・学術総会, 2009, 10, 14-16, 東京.
- 12) 三宅康史, 有賀 徹, 井上健一郎, 奥寺 敬, 北原孝雄, 島崎修次, 織田良介, 前川剛志, 横田裕行: 熱中症の実態調査 - Heatstroke STUDY2006 より -. 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 13) 織田良介, 有賀 徹, 井上健一郎, 奥寺 敬, 北原孝雄, 島崎修次, 前川剛志, 三宅康史, 横田裕行: Heatstroke STUDY-2008 から - 予後関連因子について -. 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 14) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 旭 雄士, 工廣紀斗司, 奥寺 敬: 救急患者搬送中の BLS の評価としての胃泡量簡易測定を試み. 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 15) 高橋千晶, 旭 雄士, 奥寺 敬: 脳出血が初発症状の急性骨髄性白血病の一例. 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 16) 若杉雅浩, 有嶋拓郎, 旭 雄士, 工廣紀斗司, 奥寺 敬: 医学部学生教育への集学的な災害医学教育法の導入. 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 17) 若杉雅浩: スウェーデンにおける事故対応. 第 4 回富山 ER フォーラム, 2009, 4, 10, 富山.
- 18) 中村丈洋, 奥寺 敬, 岩瀬正顕, 加藤庸子, 鹿野 恒, 亀山元信, 末廣栄一, 名取良弘, 本多 満, 河本圭司: 心肺脳蘇生としての救命処置 (PNLS: Primary Neurosurgical Life Support) の開発. 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 19) 工廣紀斗司, 若杉雅浩, 旭 雄士, 有嶋拓郎, 奥寺 敬: 救急外来におけるトリアージスケール導入に向けての検討. 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 20) 奥寺 敬: 緊急報告「救急医療と医療安全について」WHO ガイドラインからみた報告書のあり方. 特別討論会, 第 37 回日本救急医学会総会・学術集会, 2009, 10, 29, 盛岡.
- 21) 西塔依久美, 工廣紀斗司, 奥寺 敬: 救急外来におけるトリアージシステム開発 第一報. - CTAS 導入へ向けた

取り組み - 第 11 回日本救急看護学術集会, 2009, 11, 13, 福岡.

- 22) 吉崎めぐみ, 奥寺 敬: 看護師による意識レベル評価の現状と研修 (ISLS) 効果の検討. 第 11 回日本救急看護学術集会, 2009, 11, 13, 福岡.
- 23) 奥寺 敬: 脳卒中のシミュレーション教育の開発と展開 - 医療安全教育の視点から見た脳卒中初期診療 (ISLS) コース. (シンポジウム) 第 4 回医療の質・安全学会, 2009, 11, 22, 東京.
- 24) 高橋千晶, 旭 雄士, 奥寺 敬, 遠藤俊郎: 頭部外傷を含めた神経救急疾患のための Emergency Coma Scale - E-COMET 結果報告 - 第 75 回富山県脳神経外科医会, 2009, 5, 8, 富山.
- 25) 下川一生, 有嶋拓郎, 旭 雄士, 若杉雅浩, 田中伴典, 工廣紀斗司, 奥寺 敬: 集学的治療により救命しえた劇症型 A 群連鎖球菌感染症の 2 例. 第 27 回富山救急医療研究会, 2009, 8, 29, 富山.
- 26) 旭 雄士, 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 工廣紀斗司, 澁谷伸子, 奥寺 敬: DIC に対するトロンボモジュリン  $\alpha$  を使用経験した 4 例. DIC フォーラム, 2009, 10, 2, 富山.

## ◆ その他

- 1) 奥寺 敬: 脳神経外科救急のトレーニングコース: PSLS の開発. 第 14 回日本脳神経外科救急学会学術集会, 2009, 1, 16, さいたま.
- 2) 奥寺 敬: シミュレーション研修と ISLS. 第 1 回埼玉脳卒中初期診療研究会 (埼玉医科大学国際医療センター), 2009, 2, 11, 日高.
- 3) 奥寺 敬: Circle of Learning の視点 - インストラクターからファシリテーターへ. ICLS, ISLS インストラクター・スキルアップ・セミナー, 第 1 回日本医療教授システム学会学術総会, 2009, 2, 20, 東京.
- 4) Okudera H.: Current Status of Medical Simulation Training in Japan. (ワークショップ) 第 1 回日本医療教授システム学会学術総会, 2009, 2, 20, 東京.
- 5) 奥寺 敬: 脳卒中初期診療の標準化 (ISLS) にみる新しい教材のあり方・学び方. (ランチョンセミナー) 第 1 回日本医療教授システム学会学術総会, 2009, 2, 20, 東京.
- 6) 奥寺 敬: 脳卒中初期診療の標準化. 第 46 回みなとセミナー, 2009, 3, 13, 横浜.
- 7) 奥寺 敬: 医療研修とシミュレーション研修. 平成 20 年度藤田保健衛生大学看護研修会, 2009, 3, 14, 豊明.
- 8) 西塔依久美: 救急外来におけるトリアージ. 平成 21 年度倉敷中央病院: 看護師育成研修会, 2009, 4, 16, 倉敷.
- 9) 奥寺 敬: 救急医療と脳卒中初期診療. (特別講演) 大阪市立大学救命救急センター学術講演会: 大阪市における救急連携を考える, 2009, 4, 18, 大阪.
- 10) 奥寺 敬: 脳卒中初期診療のトレーニングについて. (特別講演) 第 4 回茨城リハビリテーション医会・茨城県回復期リハビリテーション病棟の会: 合同講演会, 2009, 4, 25, 日立.
- 11) 奥寺 敬: CSCATTT の構造 - 外傷の見方と応急処置. (教育講演) 第 6 回災害看護支援機構・災害看護セミナー, 武蔵野赤十字病院, 2009, 4, 26, 東京.
- 12) 奥寺 敬: 救急医療と腹部救急の接点. (特別講演) 第 2 回新潟腹部救急医学研究会, 2009, 5, 16, 新潟.
- 13) 奥寺 敬: 新型インフルエンザ対策とその動向. 平成 21 年度砺波広域圏救急医療講演会 (砺波市消防本部) 2009, 5, 21, 砺波.
- 14) 奥寺 敬: 脳卒中救急と ISLS. 南大阪 ISLS Meeting, 2009, 6, 14 大阪狭山.
- 15) 奥寺 敬: 救急・災害医療の最近の話題. 第 1 回なめがた ICLS・ISLS 講演会, 2009, 6, 27, 行方, 茨城.
- 16) 奥寺 敬: ISLS ファシリテーターについて. 上伊那メディカルコントロール学習会, 2009, 7, 4, 伊那.
- 17) 奥寺 敬: 脳卒中救急と ISLS. 上伊那 ISLS コース学習会, 2009, 7, 5, 伊那.
- 18) 奥寺 敬: ISLS と脳卒中診療体制. (特別講演) 第 57 回新潟救急医学会, 2009, 7, 11, 新潟.
- 19) 奥寺 敬: 脳卒中のシミュレーション研修. 青森脳卒中救急学術講演会, 2009, 7, 17 青森.
- 20) 奥寺 敬: Immediate Stroke Life Support. 脳卒中初期診療のため. 六日町 ISLS/PSLS セミナー, 2009, 7, 20, 南魚沼.
- 21) 奥寺 敬: 脳卒中初期診療とシミュレーション研修. 福井県脳卒中初期診療セミナー, 2009, 7, 25, 福井.
- 22) 奥寺 敬: 救急トリアージナースの基本概念. (基調講演) 救急トリアージシステムナース育成研修会, 2009, 7, 27, 東京.
- 23) 奥寺 敬: 災害対応訓練の方法論. CSCATTT からエマルゴ演習システムについて. 平成 21 年度上越地域災害医療コーディネートチーム. 災害時医療従事者合同研修会, 2009, 8, 1, 上越.
- 24) 奥寺 敬: 脳卒中初期診療 (ISLS) コースの開発と展開. 第 2 回さいたま ISLS, 2009, 9, 12, 埼玉.
- 25) 奥寺 敬: Immediate Stroke Life Support Course: ISLS の指導について. 海南病院 ISLS-WS, 2009, 9, 29, 三重.

- 26) 奥寺 敬：ER トリアージシステムと ISLS. Toyoake ISLS 研究会, 2009, 10, 3, 豊明.
- 27) 奥寺 敬：医療シミュレーション研修の最新の動向. 第 2 回南大阪 ISLS Meeting, 2009, 11, 1, 大阪狭山.
- 28) 奥寺 敬：日本におけるシミュレーション教育：JSISH の活動について. Simulation Session in 帝京, 2009, 11, 10, 東京.
- 29) 奥寺 敬：脳梗塞急性期の初期診療の標準化. 日本医科大学附属病院臨床研修フォーラム, 2009, 11, 14, 東京.
- 30) 奥寺 敬：シミュレーション研修としての ISLS の位置づけ. 第 1 回新潟 PSLS/ISLS コース, 2009, 11, 28, 新潟.
- 31) 奥寺 敬：ICLS とシミュレーション研修. 福井 ICLS/DCLS 研修会（特別講演）, 2009, 11, 29, 福井.
- 32) 奥寺 敬：シミュレーション研修の最新の動向. 奈良 ISLS フォーラム, 2009, 12, 13, 橿原.
- 33) 奥寺 敬：Canadian Triage Acuity Scale (CTAS) について. 日本看護協会・看護教育研究センター, 2009, 12, 19, 清瀬.
- 34) 若杉雅浩：トリアージナースに求められるもの. 東京都病院協会トリアージナース講習会. 2009, 7, 27, 東京.
- 35) 若杉雅浩：エマルゴ・トレイン・システムによる検証. 砺波広域医療圏防災訓練（砺波消防本部）, 2009, 9, 6, 砺波.
- 36) 若杉雅浩：医療従事者の事故現場活動. 富山北消防署救急医療講演会（富山北消防署）, 2009, 9, 16, 富山.
- 37) 若杉雅浩：DMAT の事故現場活動. 富山県救急救命士講習会（富山市消防局）, 2009, 12, 1, 富山.